

安全データシート(SDS)

作成: 2003年 4月10日
改訂: 2023年 5月 1日

1. 製品および会社情報

化学品の名称 : MCナイロン® MC900NC
会社名 : 三菱ケミカルアドバンスドマテリアルズ株式会社
住所 : 東京都中央区日本橋本石町1-2-2
三菱ケミカル日本橋ビル
担当部門 : 環境安全品証部 品質保証グループ
電話番号 : 0463-22-8057
整理番号 : MC-008-2
推奨用途及び使用上の制限 : 工業用熱可塑性エンジニアリングプラスチック

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性 :
急性毒性(経口、経皮) : 区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性 : 区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分に該当しない
生殖毒性 : 区分に該当しない
特定標的臓器毒性 単回ばく露 : 区分に該当しない
特定標的臓器毒性 反復ばく露 : 区分2 (呼吸器)

記載のないものは分類対象外、区分外または分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 警告
危険有害性情報 : 長期にわたる、または反復ばく露による呼吸器の障害のおそれ
注意書き :
安全対策 : 粉じんを吸入しないこと。
応急措置 : 気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。
廃棄 : 内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄委託すること。

GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性 :

不完全燃焼や熱分解により有毒なガスを発生する恐れがあるため、換気を十分に行い、空気呼吸器や保護眼鏡などの保護具を着用すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : ナイロン6を主成分とする重合体

成分 :

No.	成分名	CAS RN®	含有率 (w/w%)	官報公示整理番号	
				化審法	安衛法
1	ナイロン6	25038-54-4	95%以上	(7)-357	既存
2	ε-カプロラクタム	105-60-2	1.6%	(5)-1097	既存

備考

この製品の成分はポリマーマトリックスに固定されるため、正常な取扱い条件下では曝露リスクはごくわずかである。粉塵への曝露を防ぐため、適した工場衛生対策を実施するものとする。

4. 応急措置

吸入した場合	: 溶融物から出るガスを吸って、気分が悪くなった場合は、新鮮な空気のある場所に移し回復を待つ。咳、呼吸困難やその他症状が出たときは、医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	: 特別な措置は必要なし。 溶融物の場合は、直ちに清浄な水で冷やす。 皮膚上で固まった樹脂は無理に剥がさない。 火傷があれば医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	: 通常の異物と同様の措置をする。 異常があれば医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 口を水ですすぐ。 飲み込んだ場合、無理に吐かせない。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水や各種の消火剤を用いることができる。
使ってはならない消火剤	: 情報なし
特有の危険有害性	: 火災時には、不完全燃焼や熱分解により有毒なガスを発生する恐れがある。
特有の消火方法	: 消火作業は風上から行い、関係者以外は安全な場所に退避させる。
消火を行う者の保護	: 空気式呼吸器や保護メガネなどの保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 作業の際には適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、粉じんの眼、皮膚への接触、吸入を避けること。
環境に対する注意事項	: 排水溝、下水溝等への流出を防ぐ。 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を及ぼさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 通常の手取扱いでは漏出することはないが、切断等により塵埃が生じた場合は掻き集めるなどの方法により回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策(局所排気、全体換気等)	: できるだけ換気の良い場所や局所排気内で取り扱う。
安全取扱い注意事項	: 通常の手取扱いで問題ない。作業場では火気をみだりに使用することを避け、整理整頓に努める。
接触回避	: 特になし
衛生対策	: 粉塵がある場合、飲食または喫煙をしないこと。 取り扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	: 直射日光、水漏れ、高湿な場所、急激な温度変化を避ける。 保管場所ではみだりに火気を使用しない。 荷崩れ等による人身事故を招く可能性があるため荷崩れ防止や落下防止等、一般的な製品取扱上の注意をする。
安全な容器包装材料	: 特になし

8. ばく露防止及び保護処置 許容濃度等

粉塵の種類	許容濃度		出典
	吸入性粉塵	総粉塵	
第3種粉塵	2mg/m ³	8mg/m ³	日本産業衛生学会

粉塵の種類	TWA	出典
第3種粉塵	10mg/m ³	ACGIH

保護具

呼吸用保護具	: 製品の機械加工など粉塵の発生する作業時には、防塵マスク等を着用する。
手の保護具	: 梱包体や製品を取り扱う場合には保護手袋等を着用する。
眼の保護具	: 製品の機械加工などで粉塵や切削屑の飛散する作業時には保護眼鏡等を着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 特に必要としない
その他	: 「管理濃度」、「許容濃度」については、通常使用条件下で暴露の可能性はないが、製品の機械加工など粉塵の発生する作業時を考慮し参考のため記載した。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体
色	: アイボリー
臭い	: 情報なし
融点・凝固点	: 222℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 情報なし
可燃性	: 情報なし
燃焼又は爆発範囲の下限	: 情報なし
燃焼又は爆発範囲の上限	: 情報なし
引火点	: 情報なし
自然発火点	: 情報なし
分解温度	: 情報なし
pH	: 情報なし
動粘性率	: 情報なし
溶解度	:
水に対する溶解度	: 情報なし
溶媒に対する溶解度	: 情報なし
n-オクタノール／水分配係数	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
密度及び／又は相対密度	: 1.16g/cm ³
相対ガス密度	: 情報なし
粒子特性	: 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の取り扱いでは反応性はない。
化学的安定性	: 通常の取り扱いでは化学的に安定である。
危険有害反応可能性	: 通常の取り扱いでは反応性はない。
避けるべき条件	: 高温、直射日光、水気、湿気のある場所
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素等

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 区分に該当しない 区分4 CAS番号: 105-60-2 (毒性値 = 1475 mg/kg 含有率 = 1.6% 出典: NITE) ATEmix \geq 2000 mg/kgのため、区分に該当しない。
急性毒性(経皮)	: 区分に該当しない 区分4 CAS番号: 105-60-2 (毒性値 = 1410 mg/kg 含有率 = 1.6% 出典: NITE) ATEmix \geq 2000 mg/kgのため、区分に該当しない。
皮膚腐食性/皮膚刺激性	: 区分に該当しない 区分2 CAS番号: 105-60-2 (含有率 = 1.6% 出典: NITE) (区分1+1A+1B+1C) \times 10 + 区分2の成分を 濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分に該当しない 区分2 CAS番号: 105-60-2 (含有率 = 1.6% 出典: NITE) 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有 しないため、区分に該当しない。
呼吸器感作性	: データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	: データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	: データ不足のため分類できない。
発がん性	: データ不足のため分類できない。
生殖毒性	: 区分に該当しない 区分2 CAS番号: 105-60-2 (含有率 = 1.6% 出典: NITE) 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有 しないため、区分に該当しない。
特定標的臓器毒性 単回ばく露	: 区分に該当しない 区分2 CAS番号: 105-60-2 (含有率 = 1.6% 臓器 = 神経系 出典: NITE) 区分3 CAS番号: 105-60-2 (含有率 = 1.6% 臓器 = 気道刺激性 出典: NITE) 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有 しないため区分に該当しない。
特定標的臓器毒性 反復ばく露	: 区分2(呼吸器) 区分1 CAS番号: 105-60-2(含有率 = 1.6% 臓器 = 呼吸器 出典: NITE) CAS番号: 105-60-2が \geq 1%のため、 区分2(呼吸器)に該当。
誤嚥有害性	: 区分に該当しない

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性)	: データ不足のため分類できない。
水生環境有害性 長期(慢性)	: データ不足のため分類できない。
残留性・分解性	: 情報なし
生態蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: モントリオール議定書の付属書に列記された規制物質を 含有しない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者と 委託契約(マニフェスト)をして、埋め立て等の処理をすること。
-------	--

汚染容器及び包装の安全	焼却する場合には、焼却設備を用いて大気汚染防止法等の諸法令に適合した処理を施すこと。 : 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理すること。空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分すること。
-------------	--

14. 輸送上の注意

国際規制	: 国連危険物輸送勧告における危険物には該当しない。
国内規制	: 「15. 適用法令」を遵守すること。
特別安全対策	: 水濡れ、異物混入及び荷崩れ防止を行う。梱包体が破れるような乱暴な取り扱いをしない。 火気、高温の熱源を避ける。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法	:
・第1種指定化学物質(令和4年度分まで)	ε-カプロラクタム(1.6%)
労働安全衛生法	:
・有機溶剤中毒予防規則 第2種有機溶剤等	該当しない
・表示義務対象物質(法56、57条)	ε-カプロラクタム(1.6%)
・文書交付義務対象物質(法57条の2)	ε-カプロラクタム(1.6%)
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
消防法	: 該当しない

16. その他の情報

本データシートは弊社販売サイズのうち下記の製品に適用します。

MC900NC板、丸棒(～φ300)

引用文献	:
・日本産業衛生学雑誌(日本産業衛生学会2021年)	
・TLVs and BELs(ACGIH:米国・政府産業衛生専門家会議)	
・原料SDS	
・NITE-Gmiccs(GHS混合物分類判定ラベル作成システム)	

本データシートは下記JIS規格に準じて作成しています。

- ・JIS Z 7252:2019
- ・JIS Z 7253:2019

記載内容の問合せ先	:
会社名	三菱ケミカルアドバンスドマテリアルズ株式会社
住所	東京都中央区日本橋本石町1-2-2 三菱ケミカル日本橋ビル
担当部門	環境安全品証部 品質保証グループ
電話番号	0463-22-8057

その他

本データシートは、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする等の場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。また、本データシートは保証値ではありません。

MCナイロン®は、三菱ケミカルアドバンスドマテリアルズ(株)の登録商標です。